

2024 年度 摂南大学 出題内容と学習のポイント

数 学	公募制推薦入試 前期日程・後期日程
-----	-------------------

●出題内容

問題・解答用紙番号	2・5・7・10・14・17・19		
試験時間	60 分		
解答形式	マーク		
難易度	日程や学部によって問題は異なるが、いずれも教科書の章末問題に近い難易度である。日程によっては教科書の練習問題に近い難易度の出題もあるが、問題量と試験時間を考えると、あまり時間をかけずに解答する必要がある。		
問題の内容 (構成)	日程	大問番号	
	問題・解答用紙番号	〔Ⅰ〕	〔Ⅱ〕
	前期日程 (11/16 実施 2)	小問集合	図形と計量
	前期日程 (11/16 実施 5)	小問集合	微分法と積分法
	前期日程 (11/16 実施 7)	小問集合	ベクトル
	前期日程 (11/17 実施 10)	小問集合	2 次関数
	後期日程 (12/15 実施 14)	小問集合	小問集合
	後期日程 (12/15 実施 17)	小問集合	小問集合
	後期日程 (12/15 実施 19)	小問集合	集合と命題

●学習のポイント

①各分野をまんべんなく学習しよう

いずれの日程でも〔Ⅰ〕は小問集合となっており、4～6 題出題されている。計算量の多い問題や、場合分けが必要な問題もあり、普段から解き慣れているかどうか問われる。出題分野の偏りも見られないため、どの分野もまんべんなく学習して、苦手分野をなくしておこう。

②計算力を高めよう

試験時間を考えると、全問を解くためには各問題を素早く解いていく必要がある。特に、データの分析の分散の問題や、積分法で面積を求める問題は頻出であり、正確に早く計算できることが求められる。普段の学習でも、解き方がわかるだけでなく、時間をかけず正確に解けることを目指そう。

③さまざまな問題を実際に解いておこう

上記のことにも関連するが、問題を見てどのような公式や定理を用いるか判断する時間を短縮することも重要である。また、各分野から誘導形式でない小問が多く出題されることを考えても、教科書の練習問題や章末問題を実際に解いて練習を積んでおこう。

2024 年度 摂南大学 出題内容と学習のポイント

数 学	一般選抜 前期日程（3 科目型・2 科目型）
-----	------------------------

●出題内容

問題・解答用紙番号	25・30・31・37・39・43・44			
試験時間	70 分			
解答形式	マーク			
難易度	日程や学部によって問題は異なるが、いずれも教科書の章末問題に近い難易度である。試験時間に対して問題量はやや多めである。			
問題の内容 (構成)	日程 問題・解答用紙番号	大問番号		
		〔Ⅰ〕	〔Ⅱ〕	〔Ⅲ〕
	1/20 実施 25	小問集合	整数の性質	－
	1/20 実施 30	小問集合	ベクトル	微分法と積分法
	1/20 実施 31	小問集合	ベクトル	積分法
	1/21 実施 37	小問集合	場合の数と確率	－
	1/21 実施 39	小問集合	微分法と積分法	－
	1/21 実施 43	小問集合	微分法と積分法	－
	1/21 実施 44	小問集合	微分法と積分法	－

●学習のポイント

①各分野をまんべんなく学習しよう

いずれの日程でも〔Ⅰ〕は小問集合となっており、4、5 題ほど出題されている。出題分野の偏りも見られないため、どの分野もまんべんなく学習して、苦手分野をなくしておこう。学部によっては三角関数の積分や複素数の出題もあり、さらに広い範囲の内容を押さえていることが求められる。

②計算力を高めよう

試験時間を考えると、全問を解くためには各問題を素早く解いていく必要がある。特に、公式に値を当てはめるような計算で時間がかからないように、普段から時間を意識して解き慣れておこう。

③さまざまな問題を実際に解いておこう

各分野から誘導形式でない小問が多く出題されることを考えて、教科書の練習問題や章末問題を実際に解いて練習を積んでおこう。また、思考力や応用力が問われる出題もあるため、基本的な問題を押さえた後にそのような問題にも挑戦しよう。

2024 年度 摂南大学 出題内容と学習のポイント

数 学	一般選抜 中期日程
-----	-----------

●出題内容

問題・解答用紙番号	51・53	
試験時間	70 分	
解答形式	マーク	
難易度	学部によって問題は異なるが、いずれも教科書の章末問題に近い難易度である。試験時間に対して問題量はやや多めである。	
問題の内容（構成）	51 〔Ⅰ〕小問集合 〔Ⅱ〕2 次関数 〔Ⅲ〕場合の数と確率	53 〔Ⅰ〕小問集合 〔Ⅱ〕小問集合 〔Ⅲ〕微分法と積分法

●学習のポイント

①各分野をまんべんなく学習しよう

いずれの学部でも〔Ⅰ〕は小問集合となっており、4、5 題ほど出題されている。〔Ⅱ〕、〔Ⅲ〕に関してもさまざまな分野から出題されている。出題分野の偏りも見られないため、どの分野もまんべんなく学習して、苦手分野をなくしておこう。

②場合分けを得意にしよう

確率や 2 次関数の問題は頻出であり、どちらも場合分けが必要なことが多い。問題の条件から、どのような場合が起こり得るかを正確に把握できる力を身につけておこう。

③計算力を高めよう

試験時間を考えると、全問を解くためには各問題を素早く解いていく必要がある。特に、頻出である分母の有理化や、図形と計量の公式を用いる計算で時間がかからないように、普段から時間を意識して解き慣れておこう。

④さまざまな問題を実際に解いておこう

上で述べた場合分けする力や計算力を伸ばすためにも、教科書の練習問題や章末問題を実際に解いて練習を積んでおこう。それによって、問題を見てどのような公式や定理を用いるか判断する時間を短縮していくことも重要である。

2024 年度 摂南大学 出題内容と学習のポイント

数 学	一般選抜 後期日程
-----	-----------

●出題内容

問題・解答用紙番号	56・57	
試験時間	70 分	
解答形式	マーク	
難易度	学部によって問題は異なるが、いずれも教科書の章末問題に近い難易度である。試験時間に対して問題量はやや多めである。	
問題の内容（構成）	56 〔Ⅰ〕小問集合 〔Ⅱ〕積分法 〔Ⅲ〕2 次関数	57 〔Ⅰ〕小問集合 〔Ⅱ〕集合と命題 〔Ⅲ〕2 次関数

●学習のポイント

①各分野をまんべんなく学習しよう

いずれの学部でも〔Ⅰ〕は小問集合となっており、4 題出題されている。思考力が問われる出題もあり、分野の偏りも見られないため、どの分野もまんべんなく学習していることが求められる。〔Ⅱ〕、〔Ⅲ〕に関してもさまざまな分野から出題されており、複数の分野の内容を組み合わせた出題もある。

②正しい図をかいて解けるようにしよう

2 次関数の問題では、グラフや図形を扱うことが多い。問題の条件からどのようなグラフや図形になり得るかを正しく読み取り、図をかいて考えられることが重要である。思い込みによって誤った図をかかないように注意したい。

③場合分けを得意にしよう

確率や 2 次関数の問題をはじめとした、場合分けが必要な問題も頻出である。どのような場合が起こり得るかを整理して各場合について考えるという流れを、普段の学習から意識して身につけておこう。

④さまざまな問題を実際に解いておこう

試験時間と問題量を考えると、問題を見てどのような公式や定理を用いるか判断するのにあまり時間をかけられない。教科書の練習問題や章末問題を実際に解く練習を積むことで、解答にかかる時間を短縮していきたい。また、正確に早く計算できる力も伸ばしておこう。